基礎工学研究科 材料工学専攻

デース	人材育成に関する目的			カリキュラム・ポリシー				
### 15								
### 15								
### 15	分	科目群で身につける能力	修士課程	1年次		修士調	程2年次	
が出、さらには京政権を参考を力法を行う。	野		前期	後期		前期	後期	
日本のでは、日本	必修	方法、さらに研究成果を発表する方法を学	材料工学特別演習1A	材料工学特別演習1B		材料工学特別演習2A	材料工学特別演習2B	
特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別	科 目 	し、かつ研究成果を正確に表現できる能力	材料工学特別実験1A	材料工学特別実験1B		材料工学特別実験2A	材料工学特別実験2B	必修科目
新期(10-20) 後期(30-40)					<u>·</u> 修士課程1∙2年》	r r		2科目を交互に隔年
## 1			前期(10					開講する選択科目
工・プクス報光学特論2 (本国科科を宣生特別 (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科の定共特別) (本国科科的定共特別) (本国科科的定共和的定共特別) (本国科科的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和	材料物性工学					材料物性工学特論1	材料物性工学特論2※	
工・プクス報光学特論2 (本国科科を宣生特別 (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科を宣生特別) (本国科科の定共特別) (本国科科的定共特別) (本国科科的定共和的定共特別) (本国科科的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和的定共和							金属材料物理学特論2 ※	2019年度は開講し
学士課程において優特した。利料工学の 成にか野の専門的職業、利待会成、別 定が解析技術を基礎として、自己課題を発 見解するために必要な、高数を専門は そのとかに、6分野の演奏を順等は 工学 エデ エア エア 大日 「			エックス線光学特論1			エックス線光学特論2	金属材料物理学特論1	
学士課程において優特した。利料工学の 成にか野の専門的職業、利待会成、別 定が解析技術を基礎として、自己課題を発 見解するために必要な、高数を専門は そのとかに、6分野の演奏を順等は 工学 エデ エア エア 大日 「	半導工法		電子物性工学特論1	電子物性工学特論2※		半導体デバイス工学特論※	半導体プロセス工学特論	※ 開講時期は年
日本	学材料		 			半導体材料工学特論※	環境半導体工学特論	度により異なること
本のために、6分野の諸義を隔年開講し、また修士課程1年・2年のどちらでも履修できるように、科目が設定されています。 東面化学特論	料無工機	定や解析技術を基礎として、自ら課題を発見し解決するために必要な、高度な専門性	1Qセラミックス工学特論1※	セラミックス工学特論2		無機材料化学特論1※	無機材料化学特論2	
### また修士課程1年・2年のどちらでも履修できるように、科目が設定されています。 大学 1								
大学 ロック 大学 ロック 大学	有 機 材	また修士課程1年・2年のどちらでも履修で	界面化学特論1 ※	界面化学特論2		有機合成工学特論	有機金属化学工学特論	
複 ムシ 合 材 ス 材料・	工学		生体機能材料工学特論				高分子化学特論	
複 ムシ 合 材 ス 材料・	材工料		フォトニック材料工学特論1 ※			結晶材料プロセス工学特論	フォトニック材料工学特論2	
上記の必修・選択科目の内容では網羅されない材料工学の様々な分野の講義を履修し、従来の材料工学の枠組みにとらわれない幅広い専門分野の問題発見・解決能力の向上を目指します。 その中で、特に学際領域や人間の感性に関わるような科学・工学分野の講義を履修し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー 材料工学特別講義3※ 材料工学特別講義4~12※	プロセス		構造・機能材料工学特論1	構造·機能材料工学特論2※				
上記の必修・選択科目の内容では網羅されない材料工学の様々な分野の講義を履修し、従来の材料工学の枠組みにとらわれない幅広い専門分野の問題発見・解決能力の向上を目指します。 その中で、特に学際領域や人間の感性に関わるような科学・工学分野の講義を履修し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー 材料工学特別講義3※ 材料工学特別講義4~12※	複分が		++\\\\ 2\\ \dagger \da			複合材料力学特論 ※	与祖/微祖固体力学转論	
### おおい材料工学の様々な分野の講義を履修し、従来の材料工学の枠組みにとらわれない幅広い専門分野の問題発見・解決能力の向上を目指します。 その中で、特に学際領域や人間の感性に関わるような科学・工学分野の講義を履修し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー 材料工学特別講義3※ 材料工学特別講義4~12※ 材料工学特別講義4~12※ 材料工学特別講義4~12※ 材料工学特別講義4~12※ 材料工学特別講義4~12※	材質で			J		12 13 17 23 1 13 min //		
## といった。		上記の必修・選択科目の内容では網羅されたい材料工学の様々な公野の講義を履	!			大松 工学性別議:	¥1.W	
通 科 目 力の向上を目指します。 目 その中で、特に学際領域や人間の感性に 関わるような科学・工学分野の講義を履修 し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー 材料工学特別講義3※ 材料工学特別講義4~12※	共通科目	修し、従来の材料工学の枠組みにとらわれ	1					
関わるような科学・工学分野の講義を履修 し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー 材料工学特別講義3 <u>※</u> 材料工学特別講義3 <u>※</u>			 			17347 = 7.10 // 347 = 322		
し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケー							大料工学性则≇美/ 2.10.¥	
ション能力を身に付けます。			付料工字符別講義3×			竹介十二子行が明報4~12次		
Materials 1QMaterials Science and Technology Technology Overview 3: Polymer* Materials Science and Technology Overview 1: Metals Science and Technology Overview 4: Composite Materials Science Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials Science Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials Science Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials Science Materials Science Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials Science Materials Ma	数		1 11					
教 養 幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、 コミュニケーション能力・倫理観・国際性等 を養う共通教養科目 教養(共通)科目 全34科目	·養(共通)	コミュニケーション能力・倫理観・国際性等						
							¦	